

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	パーキンソン病の α シヌクレインの翻訳後修飾解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	ご遺族から文章で同意を得て新潟大学にご提供いただいた病理検体 研究責任者: 新潟大学 脳研究所 教授 柿田明美
③概要	パーキンソン病は運動障害を来す神経変性疾患であり、その病理は Lewy 小体と言われる α シヌクレイン陽性の封入体の存在とドパミン・ノルアドレナリン神経変性を含む神経変性を特徴とする。 本研究計画では、脳研究所で同定された α シヌクレインの翻訳後修飾が実際にヒト脳に存在するかをヒト剖検脳の凍結脳および組織切片（パラフィンまたは凍結切片）を利用することで明らかにする。
④申請番号	2016-0012
⑤研究の目的・意義	本研究によりパーキンソン病の病態を明らかにし、その理解、治療、予防への応用へとつなげる。
⑥研究期間	倫理審査申請の承認日～2023年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	ご提供いただいた剖検臓器を使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。本研究は本学を主たる研究機関とした多施設共同研究であり、試料や情報は研究参加機関で共有します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（性別、年齢、罹病期間、診療記録）、剖検臓器の観察所見
⑨利用の範囲	新潟大学 脳研究所 京都大学 医学部附属病院神経内科 京都大学 医学研究科医学研究支援センター
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 教授 松井秀彰
⑪お問い合わせ先	新潟大学 脳研究所 教授 松井秀彰 Tel : 025-227-0646 E-mail : hide0729@bri.niigata-u.ac.jp